

事業所名		進学・就労特化型支援事業所　ひまわり				支援プログラム		作成日		2026	年	2	月	4	日	
法人（事業所）理念		こどものレベルに合わせた支援を行い、集団行動の中で、社会性やルールを身につけ、コミュニケーション能力を高めていき、「思いやり」・「待つ」ことを学び、お子様の成長・自立に向けた、生活の質の向上を目的とした支援を行う。														
支援方針		進学の準備における日常生活での基本的習慣や知識技能の習得支援、並びに集団生活に適応出来るための支援、発達の状態や障がいの特性を理解した上で適切かつ効果的な支援と困り事の相談および助言を行います。														
営業時間		9	時	00	分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無		あり		なし	（対応できない地域もあります。）	
		支　援　内　容														
本人支援	健康・生活	・検温での健康状態チェックの実施、手洗い消毒等の髪/身体チェック/排便排尿での姿勢や拭き方などでの衛生面の清潔保持のチェックと習慣付けの支援を行います。 ・来所時の整理整頓、靴揃える、衣服の着脱、身だしなみ、支援室等の掃除/食器洗い/洗濯などの基本的な生活に必要なスキルが身につくように支援を行います。 ・調理活動での箸の使い方、食器洗い、配膳の役割分担、味覚、触覚、色、量、自分で作り作業工程の理解と達成感及び食べる喜びでの食育支援を行います。 ・外出で公共のバス・電車の乗り方/エレベーター、エスカレーター、階段昇降等の経験/買物で商品の選択と金銭管理計算、外食で食事マナーの経験と意識付による社会的ルール支援も行います。 ※健康状態の維持や改善、生活習慣や生活リズムの基本的な生活スキルの獲得の支援。　食事、排泄、睡眠、着脱、身の回りを清潔にすること等、基本的な生活習慣を身に付けられる支援を行う。														
	運動・感覚	・姿勢と座位保持の意識付の支援を行います。 ・外部講師による調理教室で、味/長さ/量/重さ、包丁、ハサミなどの様々な感覚統合支援を行います。 ・外部講師のダンス教室でリズムに合わせ指示を聞いて、見て確認し、模倣する事で目のコントロールやボディイメージに繋げ、視覚聴覚で確認した事を行動で表現が出来る様に支援を行います。 ・ボールを使った活動や体育館活動での運動会等の練習 ※運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、さまざまな体の感覚・感触、匂い、味、色の理解等の感覚の経験と表現の支援。														
	認知・行動	・来所時のスケジュール表の確認及びお集まりでのカレンダー確認、日時、曜日、数字、天気確認での寒暖とそれに合った服装の理解と選択支援を行います。 ・環境に応じた調理/制作/外出活動やダンス等の場に合った声の大小、信号等の色、速い、遅い、多い、少ない、上下左右前後の習得を支援を行います。 ・活動前に実物や動画、写真等を提示しスケジュール化にし、何をするのかを理解に繋げて自主的に行動できる支援を行います。 ・数字やひらがなを取り入れた活動を通して、数字や文字に興味を持つ事や自分の名前が分かるようにしていきます。（スケジュール説明時に日付・人数を確認等） ・月一回避難訓練やタイマーや時計で時間で行動する事の意識づけの支援を行います。　・時計での時間/カレンダーでの曜日の理解と行動の支援で感情切り替えが出来るように支援を行います。 ※学習能力と適応能力の認知理解と対応、環境の適切な認知と行動の生活習得、大小、数、重さ、時間、文字等の概念の形成を図り、認知や行動に活用できるよう支援を行います。														
	言語 コミュニケーション	・活動を通して日常生活に場に合った必要な言葉や行動表現出来るように支援を行います。 ・普段から事業所で会話のやり取りの中で気持ちを言葉で表現する楽しさや、言葉だけでなく指差しや身振り、ジェスチャーでの色々なコミュニケーション表現が出来るように支援を行います。 ・集団行動の中で、周囲の状況を確認し気持ちを考えて伝えてる事で自分から何を伝えるのかを具体的説明して伝えられるように支援を行います。 ※適応能力でのコミュニケーションの基礎的能力の向上、言語の受容と表出、言語の形成と活用、状況に応じたコミュニケーションの支援で、要求/報告/聴く/模倣/観察するなど、自分も周囲の人も大切にコミュニケーションを学ぶ。　言葉だけでなく指差しや身振り、ジェスチャーやサイン、絵カード等のコミュニケーション手段を選択・活用し、こどもに合わせた視覚的な支援を行う。														
	人間関係 社会性	・身近な大人や他利用者に関心を持ち、模倣して遊んだり、自ら関わろうとする機会を大切にして支援を行います。 ・遊びや活動でのルールのある遊びを通じて一緒にやる経験や物の貸し借り等を経験してもらう支援を行います。 ・お集まり/帰りの会や活動を通して順番や待つ事の支援を行います。 ・外出活動を通して、並んで歩くことや、買い物活動での物とお金を交換する買い物のルール等の場に合った行動が分かるように支援を行います。 ※適応能力で遊びを通じた社会性の理解、自己行動の理解と調整、仲間づくりと集団への参加の支援をして、環境での安心感、人に対する信頼感、自分に対する自己肯定感を育む事で、模倣/ルール/などを通して社会性の経験での習得に繋げる支援し、自己統制での感情のコントロールでは、障害の特性に合わせて関わり、気持ちの発散や切り替えの方法を考える支援を行います。														
家族支援		・事業所での出来事の確認と対応、年に2回、保護者と個別面談の実施。 ・連絡帳で一日の様子や出来た事やその支援方法を伝えて情報共有できるように支援を行います。 ・自宅やその他の環境での保護者の困りごと等には随時、連絡帳や電話、面談で情報共有し、対応方法を一緒に考えていきます。							移行支援		・保護者や小・中・高等学校等と各関係機関と現状の情報共有し自宅や学校でスムーズ過ごせる様な支援をし就労に繋げる支援を行います。 ※集団生活や社会生活に適応できるよう、それぞれの特性に対する対処法や環境に合った言動を身に付けられるように支援を行い、状況に応じて保護者・学校・事業所での情報共有を図り、将来に向けて場に合った言動が出来る様な支援を行います。					
地域支援・地域連携		・地域の買物活動/工場見学、公共施設/乗り物など。 ・地域イベント参加/地域講師による講習交流活動（劇/ダンス/調理） ・保健師・相談員との情報共有。　・小・中・高等学校との情報共有。 ・学校・就労事業所・外部講師・相談員・県市町村施設見学等交流。							職員の質の向上		・週に一回スタッフミーティングを行う。 ・朝、一日の活動内容、支援方法、意図と理由の確認。 ・午後、活動の狙いと意図と理由の確認、振り返り。 ・支援方法、障害の特性、安全計画、感染症、拘束虐待防止、ハラスメント等の研修。					
主な行事等		・公共の乗り物（電車やバス）での移動　・買物活動・料理教室・制作・娯楽施設の体験・県内施設の見学　・地域イベント参加 ・体育館活動　・ダンス教室活動　・外食活動　・外出活動　・調理活動　・お楽しみ会　・避難訓練　・クリスマス会														